

'03.11

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工会連合会
発行人 会長 土谷正男
神戸市中央区花隈町6の19
☎神戸(371)1261(代)〒650-0013
<http://www.shokoren.or.jp/>
編集人 澤田 功
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 555 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



すっぽんは、世界各国で、賓客をもてなす高級な料理の食材となっている。そのすっぽんを手軽に味わえるのが、美方町のすっぽん料理。同町では、温泉熱を利用したすっぽんの養殖施設もあり、すっぽんの町としても知られている。刺身は、鶏肉に近い歯ごたえと味わい。そして、地元の野菜やモチを入れた鍋では、濃厚なスープに旨みがたっぷり含まれ、最後は、雑炊のお楽しみとなる。大量含有の胶原蛋白で美肌効果もあり、女性には特に薦めたい料理と言えよう。同町にはすっぽん料理組合加盟の食堂や旅館、民宿があるが、料理を自宅で楽しめる食材セットの宅配便もある。(写真は「みかた食堂」のすっぽん料理)

■提供 美方町商工会

『すっぽん料理』

兵庫

料理シリーズ

主な行事予定

- 12月のこよみ
- 4 日本 県女性連理理事会 (県商工会館)
 - 5 日金 第5回人管専門委員会 (県商工会館)
 - 簿記検定試験 (県商工会館)
 - 12 日金 県青連理理事会(県商工会館)
 - 第6回融資問題等研究会 (県商工会館)
 - 商工会記帳専門研修会 (神戸市・六甲荘)



▲黒岩 祐治氏
(フジテレビ・キャスター)

初日は、土谷県連会長が、来賓・出席者に謝意を表した後、政府による三位一体改革に関連して商工会の補助金削減が予測される中、職員の資質向上(プロスタツ化)を図る等、存在価値の向上が求められると挨拶。続いて、「商工安全共済」のダッシュキャンペーンで功績のあった商工会の表彰が行われた。次に、フジテレビ「報道二〇〇一」キャスターの黒岩祐治氏を迎え、「どうなる日本? どうする日本!」をテーマに講演を聴いた。同氏は、浜松市の企業が強い理由に「やらまいかやつてみよう」精神を挙げ、今の日本は、官僚をはじめとして国

地域経済の発展を目指して

—平成15年度商工会会長・副会長研修会—



▲兵庫県知事・井戸敏三氏を講師に迎え、『『美しい兵庫』をめざして』をテーマに講演を聴く(於: 西淡町「うめ丸」)



▲荒川 敦氏
(県企画調整局長)

全体が「やめまいか精神」になっていると主張、日本人の潜在能力を引き出そうと訴えた。初日の最後は、県企画調整局長 荒川敦氏が「兵庫県の財政状況と三位一体改革について」と題し、県税収入の落ち込みによる財政力の低下に加え、三位一体改革による国庫補助負担金や地方交付税の縮減に対応するため、市町合併の促進、人件費・行政施策費の抑制等に取り組む県の状況を説明した。夕食懇親会には、兵庫県知事・井戸敏三氏の出席があり、多数の参加者が知事の席を代わる代わる訪れ、積極的に意見交換を行った。翌日は、九時三十分から、井戸知事による『『美しい兵庫』をめざして』をテーマに講演があり、知事は、「市町単位が大きくなれば、商工会も大きくなった方がよいのではないか、効率的に大きくなれば、小さい

「第一回人事管理委員会」を開催。また、専門委員会終了後、級別格付基準表と職階(案)。また、専門委員会終了後、級別格付基準表と職階(案)。

人事評価システム など審議

県商工会連合会は、九月三日、川崎重工業保健会館で「第三回人事管理委員会専門委員会」を開催した。

午前中に行った専門委員会の協議内容が事務局から報告され、商工会職員退職予定者調査の結果に係る対応「勤務成績票」及び「勤務に関する調査票」改正等の是非「勤務成績票」及び「勤務に関する調査票」改正(案) 平成十五年度人事交流の追加承認の四議案が審議された。特に、「勤務成績票」及び「勤務に関する調査票」については、協議の結果、新システムを来年度から実施する方向で、理事会等に諮ることとなった。今年度は、一部の項目を任意の回答とする他は、従来どおりの手続きを取ることとなった。

からできなかったこともできるようになる」「これからの商工会は下支え(弱者救済)だけで



▲「兵庫県中小企業危機突破集会」で「がんばろう」コール

はなく出る杭を育てていってほしい」と語った。次に、「兵庫県中小企業危機突破集会」で、大橋直人県連理事が平成十五年度中小企業対策要望事項等の決議文を読み上げ、参加者全員で「がんばろう」コールを行った。次いで、県連合会報告として、「商工会等職員退職金共済制度改正」「通常総会継続審議案件」「商工貯蓄共済融資あつせん制度に係る保証基金額の確保策等」について説明があり、二日間の日程を終了した。

創業を強力に支援

県商工会連合会では、創業予定者等に対し、ソフト面における支援事業として、創業塾を開催した。

神戸地区では、神戸国際会館で、「ステップアップ創業塾」を、但馬地区では、八鹿商工会館で「創業塾」を、神戸地区・但馬地区共に九月六日、十三日、二十日、二十七日、十月四日の五日間に亘り開催した。参加者は創業に関心のある者、創業予定者、創業者など神戸地区で約二十五名、但馬地区で約三十名が受講した。

テラン講師陣が、事例を満載した実践的・具体的講義を行い、創業期に必要な知識を分かりやすく、直ぐに役立つように徹底指導した。また、知らないと損する情報や支援施策等を提供した。

実習では、受講者は、グループごとに講師の指導のもと、経営知識や資金調達等に必要ないビジネスプランの作成、そして討議を行った。最終日には、作成したビジネスプランのプレゼンテーションを行った。

内容は、基調講演として、実際に創業をした起業家の出席を得て、自身の体験談を語ってもらい、講義では、経験豊富なベ



▲講義はベテラン講師陣が徹底指導

県予算への 要望(案)など協議 第五回政策研究会

県商工会連合会では、九月八日、県商工会館で、第五回政策研究会を開催し、次の議題について協議した。

平成十五年度政策・事業提案の集計結果について
平成十六年度兵庫県予算に対する要望(案)について
十五年度政策・事業提案については、今年度提出された二六



▲264件の事業提案を項目ごとに検討

四件の提案を分類し、それぞれの項目ごとに検討を行った。

協議の中で、「提言・行動する商工会」の項目で提案のあった、記帳専任職員の継続設置を今後也要望すべきとの意見や、「商工会のパワーアップ」の項目で提案のあった、県連合会送付文書の電子化を、今後推進すべきとの意見が多かった。

また、「誰もが知っている商工会」の項目では、テレビコマーシャルによる商工会の認知度向上も大切だが、巡回により会員の信頼を得る取り組みの方が大切だとの意見があった。

一方、「プロスタッフの育成」の項目において、補助金の傾斜配分の実施についての提案などは、必要性は充分理解できるが、現状での実施は非常に多くの課題があり、困難をとまなう事業であるとの認識を示した。

また、十六年度県予算に対する要望(案)については、今回素案を提出し、今後、成案に向け、検討協議を行うこととした。

延滞債権の条件変更と 求償債権の法的措置実施 融資問題等研究会

県商工会連合会は、九月十九日、「第四回融資問題等研究会」を開催した。

当日の協議内容は次のとおり。

一、前回の研究会で「代位弁済の低水準の抑制と求償債権の一定額回収により、保証基金の充足率を段階的に向上させ、追加的な拠出を見送れるよう努める」ことを確認したが、八月に実施した「回収見込み

判定」の集計結果を踏まえ、検証を行った。対応策として、延滞債権の早期条件変更着手と求償債権の債務者・保証人への「法的措置」を実施することとした。

二、保証基金枯渇防止の観点から融資あつせん制度運営上の課題、法人への転貸資金となる生活資金貸出の取扱、グループ企業への複数貸出の取扱や相保証の対応等を協議した。

三、今後、制度存廃を検討するに当り、参考になると思われる、直貸を行っている福井県、信用保証協会を活用して新制度を構築した新潟県の事例を紹介、内容把握のうえ、再提議することとした。

標準版システム の今後を検討 情報化推進委専門部会

県商工会連合会は、九月五日、県商工会館で、「商工会情報化推進委員会専門部会」を開催した。出席委員は八名。

当日の協議事項は、兵庫情報ハイウェイの概要 商工会標準版システム 商工会VP

N構築 商工会情報化担当職員育成 商工会情報化三カ年計画(案)の五項目。商工会標準版システムについては、全国連システムに参加するという方向で、今後、導入経費やその課題等を検討していくこととした。その他の項目についても活発な意見交換が行われ、これからの三カ年計画のなかに反映していく。

海外進出における 中小企業者の危機管理対策

(財)海外職業訓練協会

アドバイザー 小林 大二



危機管理の意識

日本企業が海外の安全問題に関心を深めてきたのはごく最近になってからである。私は三十年くらい遅かったと思うている。アメリカでは一九三〇年代から企業でも危機管理の研究が始まっている。

日本企業と日本人が大きな被害にあったのは、一九八六年十一月にフイリピンで発生した三井物産若王子支店長の誘拐事件だった。当時はマスコミも国民も大きな関心を寄せ、海外の安全問題も議論された。しかし日本人の悪い癖で、「のど元過ぎれば暑さを忘れ」てしまい、その後海外で日本人の被害者が出るたびに騒ぐが、いつも波のように押しては返して忘れられてしまう。

私なども声を大きくして取り組んできてはいるが、実感として各方面ともあまり完成された危機管理はなされていない。大企業にしても危機管理にあまり予算を使おうとはしていないのが現実である。企業は日頃からあらゆる面から自社のリスクを

検討しておくべきである。

国内でも、最近の製鉄所の爆発、石油コンビナートの二度にわたる大火災、JRRの工事ミスなどなど危機管理を甘く見てはいないだろうか。特に苫小牧の石油コンビナートの火災では、自社には消火設備や消火剤すら不足していたというではないか。今更地震のせいにしても始まらない。何がおきても対応できない。

日本と日本人の 特殊性

何が特殊かという点、昔から日本人は「まさか」「自分

(自社)は…」と考えたり、物事を自分に都合のいい方向に考える傾向が強い。また何でも他人のせいにする。湾岸戦争のときも、自分たちがもたもたしていて百四十人以上が拘束されたにもかかわらず、成田に無事帰国した第一声が「日本政府の救援がなかった」とインタビューに答えていた。

しかも一番多くの社員と家族を拘束された石油企業は「我々はいかにして拘束に耐えたか」などの本を出版していた。恥を

ければ批難を受けるのは当然だろう。

海外の危機管理にしても、湾岸戦争、NYの9・11テロ、アフガニスタン、イラク戦争と日本企業も関心と対策を持たなくてはならない状態が続いている。しかし、ここで大きな問題は日本人(企業)が世界でも稀な特殊な民族だということである。

さらしていると思わないのだろうか。これが日本企業の危機管理に対する認識なのだろう。ちなみに今回の二度のコンビナート火災も同じ企業だからうなずける。

横並びと上ばかり 考える日本企業

もう一つある。日本人も企業もいつも横ばかり見ている。湾岸戦争の時も、アメリカ、ドイツ、フランスなどの民間人は八月二日までにほとんどが近隣諸国に避難していたが、日本企業は開戦まで社員も家族も残っていてそっくり人質として拘束されてしまった。その最大の原因は「横ばかり見ていた」からで

ある。

つまり現地では状況の悪化で必ず本社に連絡する。その時どの企業も必ず「他社はどうしている?」と聞く。各社がお互いさまで「まだ残っています」というだろう。そこで本社は「じゃ、わが社ももうちょっと様子をみよう」ということになるのである。ここで毅然と自社の方針を打ち出せるくらいの見識がほしい。そのためには日頃から危機管理に対するケーススタディーや対策の検討が必要なのである。

安全に投資しない 日本企業

先進諸国の企業と日本企業の大きな違いは、日本企業は危機管理にはほとんど投資しないという点ではないだろうか。「その投資でいくら儲かる?」が先にきて、社員と家族の安全です」といったのではなかなか資金がでないのが現状だろう。相次ぐ大企業の失態もこのあたりに原因があると思う。

それでも大企業なら経営者の考え一つで危機管理の対策も出るはずだが、中小企業にとつては会社の経営上からも、危機

管理の資金面で問題は大きい。そこで私は以前から「中小企業共同体での危機管理」を提唱している。

中小企業の危機管理

たとえば、地域単位や事業単位で「海外危機管理委員会」を組織し、マニュアルなどは共同

99%の危機管理が大切である

海外での危機管理とか安全対策という、誰でもまず誘拐、ハイジャック、テロ、航空機事故を考える。しかしこれは問題の派手さからマスコミが大きく取り上げるので世間に喧伝されるが、被害者の数からいえば極少数ではない。

たとえば参考に二〇〇二年の統計（外務省）をみると、日本人の被害総件数は一四、三六四件で被害者は一六、九九六名となっている。このうちで誘拐は一件（死亡）、航空機事故は三件で五名死傷、テロが

で制作することだ。あるいは進出している地域ごとに危機管理組合を組織すれば更に効率がよくなるだろう。そして現地でも共同体で危機管理の問題と取り組むのだ。日常的に情報の交換、万一緊急事態が発生した時の共同作業、緊急用の医薬品や機材機器も共同で管理すればいいのではないだろうか。一番大切なことは中小企業の現地での団結だろう。

十四名負傷、三名死亡。戦争に巻き込まれた日本人は五十名だが全員避難して無事だった。この数を合わせても七十三名で、パーセントに置き換えるとお。五%以下という小さな数である。そして残りの一六、九二三名は一般犯罪の被害者ということになる。つまり、窃盗、強盗、スリ、傷害、殺人、婦女暴行などである。昨年のNYテロもイラク戦争も、航空機事故にしても個人や企業では管理しきれないものだが、その他の九十九%の一般犯罪なら、個人や企業の力でほとんどの問題は対策が立てられるのではないだろうか。

そのためには企業の意識も重要だがまず社員一人ひとりの意

識が大切である。国内にいるときも、特に海外に行った場合には、テレビをみたり新聞を見たり（細かく読む事よりも見て知ればいい）して事件事故に関心をもち、「自分ならこうする……」といったケース・スタディーをしてみることで、企業がマニュアルを作っても、それさえ読まない社員が多い。それでも万一事件事故に遭えば必ず「社宅の安全が……」「工場の警備が……」となるに違いない。それほど我々日本人は危機管理の意識がないのだ。アメリカでは憲法で「自分と自分の家族、財産はまず自分で守れ」と規定している（文言はちがうが）。だから個人の武器の所持も認めているし、

危機管理は常識と知恵である

どんな場合でも被害にあったときには必ず自分にも何かの欠点があったはずである。つまり現地と日本との常識や習慣の違いを理解していなかったり、日本と同じ感覚で行動したりしたときに被害にあいやすい。たとえば、深夜一人で街にでたり、

自宅に侵入した不明者を射殺してもいいのである。かつてアメリカ・ルイジアナ州で日本人少年が他人の家のガレージに入りピストルで射殺された事件があったが、撃ったアメリカ人は、不審者をみて家族を守るための行為として罪にはならなかった。このとき日本のマスコミも国民も「アメリカの家庭から武器を無くせ」と騒いだが、ナンセンスな話で、他国に行ったらその国の法律や習慣に自分が従わなくてはならないのだ。自分が行く国の習慣や生活にかかわる法律ぐらいいは知っておかなければいけない。その現地での常識が危機管理には必要なことである。

空港やホテルのカウンターでバックを足下においていたまま手続きをしたりしている日本人をよくみかけるが、ドロボーにチャンスを与えているようなもので危険である。レストランで日本の女性がバックを背もたれにかけているのも諸外国ではやってはいけない。こんな事は海外では常識だが、日本の常識とはちがう。海外に行く場合は「この国（地域）では、こんな事はどうなんだろう？」とまず考える

ことが必要である。そして危険だと思ったら「じゃ、どうすればいいのかわからないのか」の知恵を出すことである。つまり「常識と知恵」でほとんどの一般犯罪は回避できるはずである。しかし、常識はともかく「知恵」は個人差がある。そこで経験者や任地の前任者から情報を得れば自分の常識や知恵はどんどん膨らむはずである。

今日、この原稿を読んでいたただけで、皆さんの常識も知恵もまた少し膨らんだのではないだろうか。

尼崎信用金庫
淡路信用金庫
神戸信用金庫
但馬信用金庫
但陽信用金庫
中兵庫信用金庫
西兵庫信用金庫
日新信用金庫
播州信用金庫
姫路信用金庫
兵庫信用金庫
(アイエオ順)

〔信用金庫はますます便利になりました〕

「しんきんキャッシュカード」が1枚あれば全国どの信用金庫をご利用いただいてもATMの入出金手数料はいただきません。

第14回たんなん商工まつり ～丸太の早切りなど多彩な催し～ 篠山市丹南



▲今回、初めて企画した“よさこいソーラン”で会場は大きな盛り上がりを見せる



▲ドリームくじ抽選で豪華賞品を手

篠山市丹南商工会（松下洋一
会長）は九月二十八日、篠山市
四季の森生涯学習センター前広
場において、たんなん商工まつ

り」を開催した。

これは地域並びに地域商工業
の活性化、また、商工業者が地
域住民と親しく交わり、つな
がりを深め、前進することを願
い毎年開催しているもので、今
年で十四回目を迎えた。

恒例の豪華賞品が盛りだく
さんのドリームくじ抽選会を始め、
丸太の早切り大会、ビンゴ大会、
淡路玉ねぎすくいどり、各種模
擬店、フリーマーケット、青年
部・女性部によるもちつき大会、
ボタン汁販売など多彩な催し。



▲最優秀賞の上田浩旦氏に表彰状を手
渡す土谷会長

柏原町商工会（土谷正男会長）
が、同町建築協会員などで構成
する「建築業活性化対策事業推



特に、今年のメインイベント
として、よさこいソーランの競
演を企画、市内で活動中の三団
体が出演し、華やかでパワフル
な踊りが繰り広げられるなど盛
りだくさんの内容となった。
また、ドリームくじ抽選会では
会員事業所よりの多数の豪華
協賛品等が当たるとあって、会
場の盛り上がりは最高潮に達し
た。抽選する度に大きな歓声が
あがり、当選した人は一目散に
ステージに駆け寄り、賞品を手
にしてにつこり、会場は終日、
賑わいを見せていた。

進委員会」が公募していた「柏
原（丹波）の家」設計コンペの
入賞者が、この程、決まった。

このコンペは、「柏原町の自
然や気候風土、生活文化にふさ
わしい、人に優しい家づくり」
をテーマに公募し行われたもの
で、十一名の応募があつた。

書類審査で五作品を選出し、
その設計者五名によるプレゼン
テーションの結果、同町の上田
工務店代表の上田浩旦氏の作品
が最優秀賞に選ばれた。作品は、
三十歳・四十歳代の若い夫婦が
居住していることをイメージし
ており、外観は半切妻屋根でい
ぶしの平板瓦を使用。内装に杉
檜をフローリングなどに使い、
壁は珪藻土仕上げとなっている。

同商工会では、今後、優秀作
品をベースに、建築プランを検
討、「柏原の家」プロトタイプ
の仕様を固め、新規住宅地にお
ける建築受注に反映できるよう、
啓蒙PRをしていくこととして
いる。

小学校へ 飛び出し防止人形 但東町青年部

交通事故から子どもを守るう
と、但東町商工会青年部（宮垣
治城部長）は、「飛び出しダメ



▲児童のアイデアをもとに完成したユニークな人形

人形」を六十体製作、このほど、
町内の三小学校に寄贈した。
同青年部は、四月に交通安全
看板のデザインを、町内の各小
学校に依頼。児童のアイデアを
もとに、青年部員が合板を加工
し、コンクリートの土台を取り
付け、児童達が色塗りした。

「秋の全国交通安全運動」が
実施される前に、町内の小学校
に寄贈、通行量の多い通学路な
どに設置した。

同青年部員は「自分達が子ど
もの頃より、ずっと交通量は増
えている。安全運転を心がけ子
どもの安全を守ることに役立
てば」としている。

なお、同青年部は、今年度の
スローガンに「Challenge・
Creative・Communication」を
掲げており、人形製作への取
組みは、これに基づくもの。

『観月と童謡の夕べ』 橋上に月見団子とススキ

城崎町



中秋の名月の九月十一日、城崎町大谿川に架かる太鼓橋上で、城崎町商工会（出口弘義会長）は、「観月と童謡の夕べ」のイベントを開催、昔ながらの温かい情感が漂った。

当日は、あいにくの天候に見舞われてしまい、満月は厚い雲に覆われたが、太鼓橋には、昔懐かしい月見団子やススキが飾られ、風情豊かな雰囲気が出された。

また、琴や尺八の演奏、童謡の合唱、城崎の子供達によるハンドベルやクラリネットの演奏が繰り広げられ、詰めかけた多

くの人々は、情緒溢れる城崎温泉の夜を満喫した。



▲子供達の童謡合唱も

当日は、同青年部（盛本和喜部長）、同商店会の応援もあり、ダイアンサス（なでしこ）百八十鉢を寄植。また、同女性部は、女性部・青年部・商店会のネームプレートを作製して、鉢に刺し札をした。約二十人がこの作業に残暑厳しいなかで汗を流し、JR佐用駅から東への約六百メートル、鮮やかな薄桃色に染まった。

商店街は薄桃色に

佐用町女性部

佐用町商工会女性部（坂本ひとみ部長）は、九月十六日、花いっぱい運動の一環として、佐用商店街通りに花の寄植えを実施した。



▲寄植したダイアンサス（なでしこ）の180鉢

平成十八年に開催の「のじぎく兵庫国体」で、同町はバスケットボール（成年女子）の会場となるが、同女性部では、この花いっぱい運動を積極的に展開し、訪れる人々の目を楽しませたいとしている。

枝豆用の化粧箱を開発

篠山市西紀

篠山市西紀商工会（山内文男会長）は、枝豆・栗・山の芋・黒豆・米などの地元産品を詰めるための箱を開発した。

箱は、「どっさり丹波篠山」とネーミングされ、大・中・小の三種類の大きさがあり、どれでも一個百円で発売している。

また、黒豆や米、山の芋などのカラー写真のシールも合わせて作製、見ただけで、丹波篠山からの品物と分かる工夫がされている。

今年の春にも、発送用の箱を同商工会は開発しているが、枝豆がそのまま入るサイズがあればという声に、今回、一回り大きくした。

同商工会では、枝豆など収穫の時期を間近に控え、箱の需要は増えるが、是非、この箱を活用してほしいとしている。



プレミアム付き 商品券を発行

緑町

長引く景気低迷に歯止めをかけようと、緑町商工会（齋藤勝巳会長）は、「プレミアム付き商品券」を、この程、秋から年明けにかけて消費が拡大する時期を狙い発行した。会員事業所のうち、取扱店として登録した十六店舗で使用できる。

商品券は、同町のマスコットキャラクター「みどりちゃん」に、町内の観光名所・広田梅林の梅をあしらった、夢と希望を持つと、虹が描かれたデザイン。購入時には、町外の人にも分か

りやすいように、観光名所も記載された取扱店マップもついている。

同商工会では、「近隣の郊外型大型店等に客が流れ町内での消費が冷え込むなか、一万一千円分の買物物が出来る商品券を一万円で販売し地元商店に活気を取り戻せたら」と話している。



▲地元商店に活気をと発行した商品券

あなたの笑顔に会いたくて ——

心からの感謝の気持ちをこめて
皆さまとともに翔いて行く **かんしん** です。



兵庫県信用組合

〒650-0023

神戸市中央区栄町通 3-4-17

電話 078-391-6315(代)

FAX 078-392-5290

http://www.hyogokenshin.co.jp/



▲調印式でのセレモニー

多可郡八千代町と神戸市垂水区の商店街が「人」と「文化」の交流を通して、新しい経済交流の場にしようと、九月六日、神戸市・垂水駅北のレバンテ垂水一番館南広場で、フレンドシップ提携の調印式を行った。

式典には、細尾重信八千代町商工会長を始め、両地域の代表者や神戸・北播磨の両県民局長、県会・市会・町会議員など多数の出席を得て、八千代町・森位町長と垂水商店街振興組合・石

「敬老の日発祥の町」八千代町と「いかなご釘煮発祥の街」の垂水商店街振興組合との連携で、地方自治体と商店街の連携は全国でも珍しい。地域の魅力を相互発信しようと行われたもので、今後は商工会と商店街・子ども会や老人会、婦人会などの交流を深め共同イベントや交流事業に取組んでいく。

八千代町と垂水商店街が提携

—地域の魅力を相互発信—

八千代町



▲フレンドシップ提携の調印の後、力強い握手。今後は、人と文化と物の交流も積極的に進めていく。

▶長さ39メートルの巻き寿司の
出き上がり



また、商店街内の銀行のショーウィンドウには、八千代町の自然や文化、施設のPRパ

井理事長が調印。「海の街垂水と山の町八千代。お互いの特性を活かして、新しい文化を生み出していこう」「人の交流にも積極的に取り組もう」との挨拶があった。
当日、九月とはいえ、真夏日の大変暑い日となったが、会場にはたくさんの人々が集まり、明石海峡大橋の長さになんた三十九分の「巻き寿司の体験」や木のパズルなどを作る「木工教室」また、餅つきの体験や販売では約五十名の餅をつくなど八千代町の農林産物などの特産品販売は大好評。その他、餅まき大会なども行われ、多数の人で賑わった。



▲子供達も巻き寿司づくりにチャレンジ

ネルの展示なども行われた。
垂水商店街では、六月に「ほたる鑑賞ツアー」を実施するなど、子供たちや婦人会・老人会の交流を既に始めている。今後は、八千代町のアンテナショップ設置や「いかなごまつり」への参加などにより積極的に、また、継続的に交流を進めて、人と文化と物の交流を図り、お互いが豊かで魅力的な「まち」の創造を図っていくことが期待される。
(H・Y)



▲特産品販売は大好評

Time is Money. —時は金なり—

あなたの時間を有効に
たんぎんダイレクト インターネットバンキング
モバイルバンキング
テレホンバンキング

地域とともに発展する

但馬銀行

<http://www.tajimabank.co.jp/>

安全・確実な1年貯蓄

ワリショー

半年複利の5年貯蓄

ワイド

商工中金

神戸支店

〒650-0032 神戸市中央区伊藤町111
☎078(391)7541

姫路支店

〒670-0015 姫路市総社本町111
☎0792(23)8431

尼崎支店

〒660-0082 尼崎市東難波町5-19-8
☎06(6481)7501